

フェーン・異常高温緊急情報(第4号)

令和5年8月29日
新潟農業普及指導センター

8月29日から9月1日にかけて、35℃以上の高温が予想されています。

こしいぶきは速やかに刈りましょう。

コシヒカリは籾水分を確認し、早めに収穫。

新之助は、飽水管理を継続しましょう。

〔気象の見込み〕

- ◎ 新潟地方気象台が8月29日11時に発表した「新潟県の天気予報（7日先まで）」では、8月29日～9月1日の最高気温は35～36℃、最低気温は25～27℃とかなりの高温が予想されています。
- ◎ 一部地域では降雨がありましたが、降水量がかなり少ない状況が続いており、しばらくはまとまった降雨が期待できない見込みです。

〔当面の管理対策〕

- ◎ こしいぶきは、籾の黄化状況を確認し、速やかに収穫してください。
- ◎ 籾水分が22%未満の時期に極度に乾燥した状態に遭遇すると胴割粒が急増します。コシヒカリは、ほ場ごとに籾水分を確認し、22%を下回る場合は、出穂期後積算気温900℃、籾黄化率75～80%を収穫開始のめやすとし、通常より早めに収穫し、刈遅れに注意してください。
- ◎ 収穫時の籾水分が低い場合は、日中の加温乾燥は避け、常温で通風乾燥を行いましょう。点火は夜間等に気温が下がってから、毎時乾燥速度が0.5%以下になるよう送風温度を低めに設定して丁寧に乾燥しましょう。
- ◎ 乾燥機に2段乾燥機能や休止乾燥機能がある場合はそれを活用しましょう
- ◎ 新之助を高温障害から守るため、用水が確保できる地域では、可能な限りかん水し、出穂期30日後まで飽水管理を継続しましょう。
- ◎ 通水が早く終了するなど、出穂期30日後までかん水が困難な場合は、かん水可能期間の最終日に十分かん水するとともに、暗渠栓の開栓を可能な限り遅くして土壌水分の保持に努めましょう。
- ◎ 用水の厳しい供給状況に配慮して、節水に心がけ、用水の有効活用に努めてください。

熱中症に注意し、農作業事故の防止に努めましょう。

